

学 長 定 例 記 者 会 見 要 項

日 時：平成23年6月7日(火) 11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

発 表 事 項

1. 「スマイルトレード 10%」活動に企業連携
2. 「高校生朗読コンクール」出場者募集
3. 山辺町で「世界の良心」をつなぐパレード
4. 「はやぶさ」帰還、一周年記念！講演会

お 知 ら せ

1. 大学コンソーシアムやまがた『やまがた夜話』(6月分)
2. 農学部・山形県農林水産部連携推進協議会
『平成23年度 研究成果公開シンポジウム』
3. 大学コンソーシアムやまがた『進学相談会』
4. 地域教育文化学部公開講座
『骨の健康～上手なカルシウム摂取のための知識と実験・調理実習～』
5. 山形大学・宮城教育大学・福島大学「3大学合同進学説明会」(仙台会場)

(参 考)

- 次回の学長定例記者会見(予定)

日 時：平成23年6月21日(火) 11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)



平成23年6月7日
山形大学

「スマイルトレード10%」活動に企業連携

スマイルトレード10%運動へ賛同いただける団体との連携を進めています。

東日本大震災復興支援のために、山形大学と東北芸術工科大学が始めた「スマイルトレード10%」の活動に賛同する団体との連携をスタートします。

○BBJ (Big Blue Japan)

日本アイ・ビー・エム(株)のOBネットワークを活用し、スマイルトレード10%の以下の活動を支援していただきます。(団体の詳細は添付資料参照)。

- 1) ボランティアバスツアー、寄付活動の広報協力
- 2) 東北未来塾への講師派遣
- 3) 復興支援コンサルティング「スマイルシンクタンク」への参加

○オフィスコロボックル

内田洋行のノウハウを活用して開設されたクラウドサービスと連携したエコオフィス「コロボックル」の10%を、「スマイルシンクタンク」のプロボノオフィスとして提供いただきます。

☆オフィスコロボックル

東京都港区赤坂六丁目6-23

(お問い合わせ)

エンロールメント・マネジメント部 教授 平尾 清
TEL : 023-628-4866
e-mail : goodhope@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

平成23年6月7日
山形大学

「高校生朗読コンクール」出場者募集

山形大学では高校生朗読コンクール「井上ひさしーいま、言葉を東北の灯に」を開催します。

4回目となる今回は、井上ひさし氏（川西町小松出身）の『イソップ株式会社』を題材に開催します。

昨年惜しまれながら世を去った作家・劇作家井上ひさし氏は、東北を舞台にした作品を数多く執筆し、さまざまな活動を東北の地を舞台に行い、山形そして東北をこよなく愛し、日本の、そして世界の中の東北のあり方を常に世に問い続けました。

東北地方は、現在未曾有の困難に直面しています。そして、今後進むべき方向は未だ明確にはなっていません。

本朗読コンクールでは、井上氏の作品や偉大な活動を振り返り、そこに込められた東北地方への思いを明らかにし、そこから東北地方に生きていく私たちの歩みを照らす指針を得たい、そんな思いをもって開催します。

まず予選を録音審査の形で実施し、学内の教員等で構成する審査委員会の審査によって本選出場者を決定します。

◎予 選

応募資格：東北地方在住の高校生。または、東北地方の高校に在学する高校生。
高等専門学校生は1年から3年までのみ。

- ◆予選課題文：井上ひさし「イソップ株式会社」（中公文庫80頁～83頁）。
- ◆応募締切：平成23年7月22日（金）（郵送の場合は当日消印有効）

◎本 選

- ◆日 時：平成22年9月3日（土）13：30～17：00
- ◆会 場：シベールアリーナ（山形市蔵王松ヶ丘2-1-3）
- ◆本選での課題：「イソップ株式会社」より予選通過者それぞれに異なる部分を審査委員会が指定します。

※2008、2009年と山形大学特別プロジェクト「藤沢周平の山形」の一環として朗読コンクールを実施しました。昨年（2010年）は、井上ひさし氏の「吉里吉里人」をテーマに、実施しています。

（お問い合わせ）

山形大学渉外部社会連携・図書・情報課 図書担当
（TEL）023-628-4016

山形大学特別プロジェクト 井上ひさしの東北

第四回山形大学高校生朗読コンクール

井上ひさしー いま、言葉を東北の灯に

出場者募集

主催) 国立大学法人山形大学 共催) 公益財団法人 弦地域文化支援財団

【課題】 井上ひさし著 「イソップ株式会社」

【予選】 応募締切7月22日(金) 消印有効(応募要項は裏面)

【本選】 日時) 平成23年9月3日(土) 13:00~17:00

会場) シバールアリーナ(〒990-2338 山形市 蔵王松ヶ丘二丁目1番3号)

山形大学は、9月3日(土)に弦地域文化支援財団と共催で、第四回高校生朗読コンクール「井上ひさしー いま、言葉を東北の灯に」を開催いたします。

高校生朗読コンクールも今年で四回目となりました。山形大学は「地域に根ざし、世界をめざす」をミッションとして、山形の地域の文化の活性化を目指してまいりました。平成19年度から特別プロジェクトとして「藤沢周平の山形」を3年計画で展開し、山形出身の藤沢周平を通して「東北のこころ」を探りました。また、そのプロジェクトの一環として、高校生朗読コンクールを平成20、21年と開催、多数の応募をいただきました。藤沢周平プロジェクトは平成21年度で終了しましたが、平成22年度は、やはり山形県出身の作家井上ひさし氏の作品に焦点をあて、「東北のことばとこころ」をテーマとした朗読コンクールを開催いたしました。

そして今年度より、新たに

「特別プロジェクト井上ひさしの東北」をスタート、その一環として、第四回高校生朗読コンクールを開催いたします。

昨年惜しまれながら世を去った作家・劇作家井上ひさし氏は、東北を舞台にした作品を数多く執筆され、さまざまな活動を東北の地を舞台に行われ、遅筆堂文庫として本県に多数の蔵書を寄贈されるなど、山形そして東北をこよなく愛し、日本の、そして世界の中の東北のあり方を常に世に問い続けられました。

東北地方は現在未曾有の困難に直面しています。そして、今後進むべき方向は未だ明確にはなっていません。本プロジェクトは井上氏の膨大な作品群や偉大な活動をさまざまな形で振り返り、そこに込められた東北地方への思いを明らかにし、そこから東北地方に生きていく私たちの歩みを照らす指針を得たい、そんな思いをもってスタートしたいと考えております。

第四回山形大学高校生朗読コンクール 井上ひさしーいま、言葉を東北の灯に

◎予選募集要項

応募資格:東北地方在住の高校生。または、東北地方の高校に在学する高校生。

高等専門学校生は一年から三年までのみとさせていただきます。また同一高校からの応募人数制限は設けません。

予選課題:「イソップ株式会社」(以下の頁数は、中公文庫2008年刊行初版にもとづく)

80 頁最終行「今日の父のお話には」より

83 頁 10 行目「教訓。ものは大切に。」まで

審査方法:テープ審査。

応募方法:上記課題を朗読録音し、下記応募受付まで送付をお願いします。

録音メディアは、MD/CD-R のいずれかとし、各メディアにも必ず氏名を明記してください。

応募締切:平成23年7月22 日(金)(当日消印有効)

○郵送の場合には封筒表面に「高校生朗読コンクール応募」と朱書してください。

○応募の際、以下の項目について記したものを同封してください。書式は自由です。

1) 氏名(よみがな) 2) 性別 3) 学校名、学年 4) 自宅住所 5) 自宅電話番号

6) 携帯電話番号 7) メールアドレス

6) 7) については記入しなくてもかまいません。情報については本学からの連絡のみに用い、他用途に転用することはありません。

○予選の録音メディアの費用及び郵送料は自己負担とします。

○予選で大学に送付されたメディアは返却せず、本選後録音を消去いたします。

○予選は学内の教職員で構成した審査委員会が審査を行い、結果は全応募者に8月上旬に御自宅に郵送で通知いたします(学校でとりまとめて応募いただいた場合は、学校にも結果を通知いたします)。

○予選通過者を優秀賞として表彰し本選に招待します。なお、予選通過者名は公表いたします。

○朗読の録音に伴う著作権の手続きは山形大学が一括して処理いたします。

○予選通過者は、全員本選への出場をお願いしますが、日程上、出場できない場合はご相談ください。

◎本選について

日時: 平成23 年9 月3日(土)13:30 ~ 17:00

会場: シベールアリーナ

課題: イソップ株式会社より予選通過者それぞれに異なる部分を審査委員会が指定します。

○審査結果通知時にそれぞれの課題部分を指定します。

○作品の内容や量による審査の有利不利は起きないように審査の際に配慮します。

○文章中の地名や人名等の固有名詞の難読語に限り相談を受け付けますので、お問い合わせください。

○本選は、学内外のメンバーで構成した審査委員会が審査を行います。

○本選の上位3名を山形大学学長賞として表彰します。他に特別賞、会場賞も設ける予定です。各賞には賞状・記念品を贈呈します。

○本選は一般に公開します。一般の方の聴講受付は7月ごろ開始します(新聞等のメディアで告知します)。

応募・お問い合わせ先:

山形大学企画部社会連携・図書・情報課図書担当

〒 990-8560 山形市小白川町1-4-12 TEL 023-628-4016 FAX 023-628-4849

E-mail k-toiyoki@im.kj.yamagata-u.ac.jp

平成23年6月7日
山形大学

山辺町で「世界の良心」をつなぐパレード

世界の良心「安達峰一郎博士」の世界平和の心をつなぐ行進を実施します。

日時等：平成23年6月18日（土）

9：00～ 開会式（安国寺（山辺町大寺））

10：00～ パレード（JA山辺支店～JR山辺駅）

11：20～ 継承式（山形大学体育館（小白川キャンパス））

参加予定者：◇安達峰一郎記念保育所、やまべ幼稚園、ゆりかご幼稚園

の年長児 120人

◇第9回「花のいろ」文芸賞受賞者 小学生5人

◇山辺町長及び山辺町職員、交通指導員

◇山形県議会議員、山辺町議会議員

◇安達峰一郎顕彰会会員

◇山形大学教職員

山辺町と山形大学都市・地域学研究所の連携協定締結を記念して、「安達峰一郎博士」が生涯を通して持ち続けた「世界平和を願う心」を、将来にわたって受け継ぐ決意をリレーする行進を実施します。

安達峰一郎博士は、山辺町出身で“世界の良心”と称えられる国際法学者で、アジア系として初の常設国際司法裁判所の所長となった人物です。

（お問い合わせ）

山形大学都市・地域学研究所 所長

山形大学人文学部人間文化学科 教授

松尾 剛次（まつお けんじ）

（TEL）023-628-4917

安達峰一郎記念世界平和の精神

リレー行進

世界平和の確立にその生涯を捧げた
「安達峰一郎の世界平和」の精神をつなぐ

開催日：2011年6月18日（土）

コース： 9：00

山辺安国寺（開会式）



10：00～10：25 JA～山辺駅（園児の行進）

11：20～12：00 山形大学第一体育館（継承式）

※山形大学での継承式に奮ってご参加ください



問い合わせ先

山形大学人文学部松尾研究室

TEL・FAX 023-628-4917

又は山形大学人文学部総務課

TEL 023-628-4203

平成23年6月7日
山形大学

「はやぶさ」帰還、一周年記念！講演会

☆星のかけら☆ が実験室にやってきた！
～新しい太陽系の歴史：解明への道～

日 時：平成23年6月12日（日）13：30～16：30
会 場：山形大学理学部大講義室（山形市：小白川キャンパス）
対 象：どなたでも。入場無料・予約不要です。

小惑星探査機「はやぶさ」が持ち帰ったサンプルを、いま現在進行形で解析している中村智樹先生、野口高明先生から最新の成果が発表されます。しかも、だれにでも理解できるようにやさしく親切な解説です。いったい、「はやぶさ」は何をしたのか、どんなことが分かるのか、太陽系形成の歴史の謎が解かれようとしています。このまたとないチャンスへのご来場をお待ちしています！

○講演 第一部

「はやぶさカプセルの地球帰還から、カプセル開封、
イトカワ微粒子発見まで」
中村 智樹 氏（東北大学大学院理学研究科 准教授）

帰還カプセルの開封や微粒子回収を実際に行った中村先生から、その場その時の臨場感が伝わるような解説をいただきます。

○講演 第二部

「イトカワから持って帰られた微粒子はどのようなものか？」
野口 高明 氏（茨城大学理学部 教授）

今年初めに行われたイトカワの微粒子の分析によって、それら微粒子の特徴が明らかになり、どのようなことが分かったか、わかりやすく説明いただきます。

※ なお、「第62回JAXAタウンミーティング in 山形」が、別添資料のとおり開催されます。

（お問い合わせ）

んだ！「はやぶさ」見に行がんなねプロジェクト
山形大学理学部物理学科 教授 柴田晋平
（TEL）023-628-4552

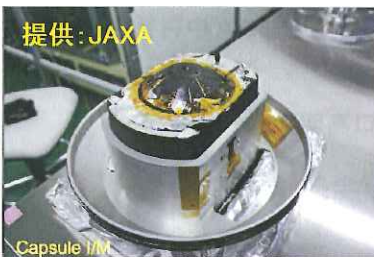
☆星のかけら☆が実験室にやってきた!

～新しい太陽系の歴史：解明への道～

小惑星探査機「はやぶさ」が持ち帰ったサンプルを現在進行形で解析している中村智樹先生、野口高明先生から、最新の成果が発表されます。しかも、誰にでも理解できるようにやさしく親切に解説して下さいます。



はやぶさの中の
カプセルを回収



はやぶさの中に
あったカプセル

日時：2011年6月12日(日)
13:30～16:30(12:30開場)
場所：山形大学(小白川キャンパス)
理学部大講義室(S401)
※チラシ裏面の地図をご参照下さい
入場：無料
予約：不要
(当日、直接会場へお越し下さい)

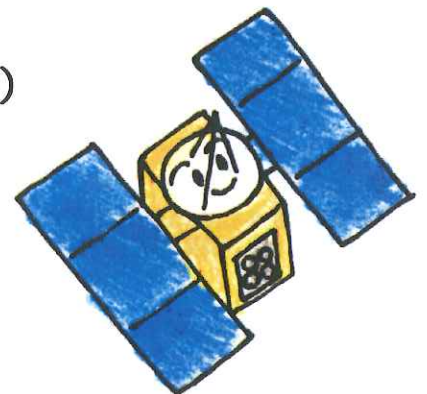
●講演 第一部

「はやぶさカプセルの地球帰還から、
カプセル開封、イトカワ微粒子発見まで」
中村智樹(東北大学大学院理学研究科 准教授)

●講演 第二部

「イトカワから持って帰られた微粒子は、
どのようなものか？」
野口高明(茨城大学理学部 教授)

●『んだ、「はやぶさ」見に行がんなね』プロジェクト
クロージングセレモニー
挨拶 結城章夫(山形大学学長)



「はやぶさ君の冒険日誌」より
画:小野瀬直美、奥平恭子

主催：山形大学理学部

共催：『んだ、「はやぶさ」見に行がんなね』プロジェクト、山形市教育委員会
NPO法人小さな天文学者の会、山形県産業科学館、山形県立博物館

☆星のかけら☆が実験室にやってきた！

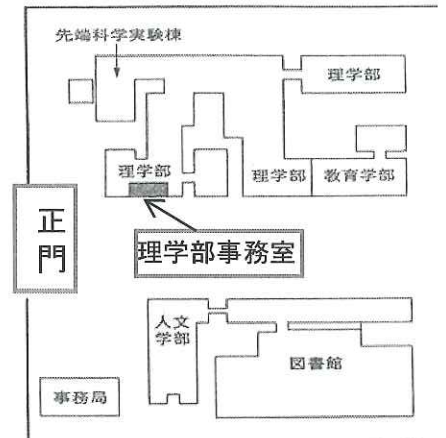
理学部へは…

●交通：山形駅から

「東原經由千歳公園」行きバスで約10分、「山大前」下車
または
「山形県庁」行きバスで約7分、
「山形南高前」下車、徒歩約5分



小白川キャンパスマップ



★プログラム★

- 13:30 開会式
- 13:35 講師紹介(岩田尚能より)
- 13:40~14:30 講演「はやぶさカプセルの地球帰還から、カプセル開封、イトカワ微粒子発見まで」(中村智樹)
- 14:30~14:45 質問コーナー
- 14:55 講師紹介(岩田尚能より)
- 15:00~15:50 講演「イトカワから持って帰られた微粒子はどのようなものか?」(野口高明)
- 15:50~16:05 質問コーナー
- 16:05~16:20 「んだ、はやぶさ見にいがんね」プロジェクト終了式(挨拶;山形大学学長 結城章夫)
- 16:30 終了

○講演 第一部

「はやぶさカプセルの地球帰還から、カプセル開封、イトカワ粒子発見まで」
中村智樹(東北大学大学院理学研究科 准教授)

講演要旨

様々な困難を乗り越えて地球に帰還し、小惑星サンプルが入ったカプセルを地球に運び届けた小惑星探査機はやぶさのこれまでのいきさつをわかりやすく紹介します。いくつかの大事な局面を中心にお話します。2003年5月9日にMVロケットで打ち上げられたはやぶさ探査機の発射の様子、小惑星イトカワに到着し小惑星表面の分光分析などの科学成果、小惑星表層物質のサンプリング中の出来事、地球への帰還中のトラブルの顛末、2010年6月13日深夜にオーストラリアのウーメラ軍用地に帰還したはやぶさカプセルの大気再突入および回収の様子、日本でのサンプルカプセルの開封や微粒子取り出し作業などです。特に最後のカプセル開封や微粒子回収に関しては、講演者が実際に行いましたので、その場その時の臨場感が伝わるように解説したいと思います。

○講演 第二部

「イトカワから持って帰られた微粒子はどのようなものか?」
野口高明(茨城大学理学部 教授)

講演要旨

昨年12月初めに、本公演の講演者二人と宇宙科学研究所のスタッフによって、帰還カプセル内から回収された微粒子がイトカワ起源ということが報告されました。今年1月~2月にかけては、これらの小惑星イトカワから持ち帰られた微粒子のなかから数十個を使って、まずはこれらの微粒子の基本的な性質が調べられました。小惑星イトカワは、地球が太陽の周りを公転している軌道と交差する小惑星のひとつです。こうした地球に接近するような小惑星のなかで、もっとも数の多い種類に小惑星イトカワは属しています。ところが、隕石のなかで最も多い種類のものとイトカワの属する小惑星の種類のものとのような関係にあるかということすら今までわかっていませんでした。今年初めに行われたイトカワの微粒子の分析によって、それら微粒子の特徴が明らかになり、この長年の問題にもひとつの回答がえられました。この講演では、イトカワの微粒子の特徴からどのようなことが分かったか、わかりやすく説明したいと思います。

お問い合わせ先：

山形大学小白川キャンパス事務部理学部事務室
「科学文化の地域拠点形成@やまがた」プロジェクト室
〒990-8560 山形県山形市小白川町一丁目4-12
電話 023-628-4505 FAX 023-628-4510



SCITAネット会員募集中！くわしくは

<http://www-sci.yamagata-u.ac.jp/scitanet/scitanet.pdf>
<http://www-sci.yamagata-u.ac.jp/scitanet/scitanet.doc>

こちらをご覧ください！

プレス通知資料（概要）

平成23年6月7日
山形大学

1. 大学コンソーシアムやまがた『やまがた夜話』

(概要)『女性研究者が語る「元気な山形の未来」』をテーマに、気鋭の女性研究者が山形の未来を語ります。

【第1夜】

日時:平成23年6月1日(水) 18:30～19:30

『女性の経験から学ぶ～山形大学ウーマン・オブ・ヤマガタの試み～』

木村 松子 (山形大学男女共同参画室 准教授)

【第2夜】

日時:平成23年6月8日(水) 18:30～19:30

『元気な山形づくり～保健・医療・福祉がつなぐ、まち・人・地域～』

丹野 克子 氏(山形県立保健医療大学理学療法学科 講師)

【第3夜】

日時:平成23年6月22日(水) 18:30～19:30

『女性の視点からみた、元気なまちづくり』

早野 由美恵 氏(東北芸術工科大学プロダクトデザイン学科 准教授)

【第4夜】

日時:平成23年6月29日(水) 18:30～19:30

『紅花から元気な山形を』(仮題)

平松 緑 氏(東北公益文科大学公益学科 教授)

場所:ゆうキャンパス・ステーション(山形市:山形むらきさわビル1階)

対象:高校生・学生・一般市民 50名

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ:大学コンソーシアムやまがた事務局

(TEL)023-628-4842

2. 農学部・山形県農林水産部連携推進協議会『平成23年度 研究成果公開シンポジウム』

(概要) 「つながりから見えてくる明日の山形」をテーマに、本学農学部と山形県農林水産部の「連携研究ユニット」から得られた最新の研究成果や今後の課題等を一般参加者や学生も理解しやすいように報告します。

また、パネルディスカッションでは、連携することのメリット、連携を困難とする障壁、活動を進めるうちに更に見えてきた新たな連携のあり方などの話題をコーディネーターが「紡ぎ」、山形県の農林水産業やその基盤となる自然環境の近未来像を、参加者とともに語り合います。

日 時:平成23年6月16日(木) 16:30~18:20

場 所:基盤教育2号館2階講義室(山形市、小白川キャンパス)

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ:山形大学農学部企画広報室

(TEL)0235-28-2910

3. 大学コンソーシアムやまがた『進学相談会』

(概要) 高校生、保護者の方を対象に、県内の高等教育機関による個別進学相談会を開催いたします。ぜひ、この機会に会場へ足を運んで、進学の疑問を解決しませんか。

日 時:別添の資料のとおり

場 所:ゆうキャンパス・ステーション(山形市:山形むらきさわビル1階)

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ:大学コンソーシアムやまがた事務局

(TEL)023-628-4842

4. 地域教育文化学部公開講座

『骨の健康～上手なカルシウム摂取のための知識と実験・調理実習～』

(概要) 加齢に伴い骨密度は減少するため、高齢者にとってカルシウムを積極的に摂取することは、骨密度を増加させ、健康な生活を過ごすための第一歩です。

また、スポーツクラブや部活動などでの運動は、骨代謝によいと言われていています。しかしながら、何となくよいというイメージが先行し、「本当はどうなのか？」とよく理解されていません。

そこで、本講座では「骨の健康」のために、講義及び実習を行います。

日 時:平成23年7月2日(土)、9日(土)、16日(土) 13:30～15:30

場 所:山形大学地域教育文化学部1号館(山形市、小白川キャンパス)

対 象:一般市民(中学生以上) 20名(先着順)

受講料:3,000円

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ:山形大学小白川キャンパス事務部 地域教育文化学部事務室(総務担当)

(TEL)023-628-4304

5. 山形大学・宮城教育大学・福島大学「3大学合同進学説明会」(仙台会場)

(概要) 大学進学を目指す方に、より自分に適した大学・学部・学科等を選択する際の情報や資料入手の利便性を図るとともに、各大学ブースにおける個別相談を通じ、進学に関する悩みや疑問等解消の一助とします。

日 時:平成23年7月3日(日) 13:00～16:00

場 所:仙台国際センター 3F 白樫(しらかし)(仙台市青葉区青葉山無番地)

内 容:・大学案内、入学者選抜要項等の配布

・各大学全体概要説明

・各大学ブースにおける個別相談

・学生相談コーナー

・資料コーナー

・センター試験の英語で使用するリスニング機器の体験コーナー

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ:山形大学エンrollment・マネジメント部政策課(EM担当)

(TEL)023-628-4063

6. これまでの学長定例会見でお知らせをしたもので開催がせまっているイベント
当日の取材をよろしくお願いたします。

○『んだ!「はやぶさ」見に行がんなね』プロジェクト

☆春の星空案内

日 時: 星空ガイドツアーの出発時間は、毎週土曜日

1回目 19:15～、2回目 19:45～、3回目 20:15～

参加料: 小学生以上 200円

☆小惑星特別展示

日 時: ～平成23年6月10日(金) 月曜から金曜日 10:30～16:00

場 所: 山形大学インフォメーションセンター(山形市、小白川キャンパス)

特別展示内容:

- ①山形に因んだ天体大集合
- ②惑星や小惑星はどのようにしてできたか。
- ③日本の宇宙船やロケットの歴史を振り返るペーパークラフト展
- ④小惑星探査機「はやぶさ」で使われたターゲットマーカ―の反射材の展示

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ: 『んだ!「はやぶさ」見に行がんなね』プロジェクト

(プロジェクト代表: 柴田晋平 山形大学理学部 教授)

(TEL) 023-628-4552

○人文学部公開講座『遠い方言 近い方言』

日 時: 平成23年6月2日(木)～6月16日(木) [月・木 計5回] 18:30～20:10

場 所: 山形大学人文学部1階 104教室(山形市、小白川キャンパス)

対 象: 一般、大学生、高校生 定員30名

受講料: 一般 2,000円、大学生・高校生は無料。

募集期間: 平成23年5月9日(月)～5月31日(火)

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ: 山形大学人文学部事務室

(TEL) 023-628-4203

○都市・地域学研究所「都市研カフェ」

日 時:平成23年6月10日(金)～7月15日(金)17:00～19:00

場 所:ゆうキャンパス・ステーション(山形駅前、山形むらきさわビル1階)

申込〆切:平成23年6月3日(金)17:00

定 員:一講座20名程度

参加料:一般 500円、高校生 無料(資料代+菓子代)

プログラム:

第1回 6月10日(金)「ジブリ作品と宗教学」

都市研所長 人文学部教授 松尾 剛次

第2回 6月17日(金)「持続可能社会のためのエネルギー」

都市研所員 理学部教授 栗山 恭直

第3回 7月 8日(金)「ナスカの地上絵」

都市研所員 人文学部教授 坂井 正人

第4回 7月15日(金)「驚きの名画:美術史の楽しみ方」

人文学部教授 元木 幸一

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ:山形大学人文学部事務室

(TEL) 023-628-4203

やまがた夜話

テーマ

女性研究者が語る「元気な山形の未来」

6月1日(水)

18:30~19:30

「女性の経験から学ぶ

～山形大学ウーマン・オブ・ヤマガタの試み～」

木村 松子氏 (山形大学男女共同参画推進室・准教授)

6月8日(水)

18:30~19:30

「元気な山形づくり

～保健・医療・福祉がつなぐ、まち・人・地域～」

丹野 克子氏 (山形県立保健医療大学理学療法学科・講師)

6月22日(水)

18:30~19:30

「女性の視点からみた、元気なまちづくり」

早野 由美恵氏 (東北芸術工科大学
プロダクトデザイン学科・准教授)

6月29日(水)

18:30~19:30

「紅花から元気な山形を」(仮題)

平松 緑氏 (東北公益文科大学公益学科・教授)

会場 ゆうキャンパス・ステーション
(山形むらきさわビル1階)

アクセス 山形駅東口より徒歩1分。

主催 大学コンソーシアムやまがた

お申込 電話又は、チラシ裏面の参加申込書に必要事項をご記入の上、FAX、郵送、メール等で下記宛お申し込みください。

対象 高校生・学生・一般市民

入場無料 定員:50名



お申込み・お問合せ



大学コンソーシアムやまがた
ゆうキャンパス・ステーション

〒990-0039 山形市香澄町1-3-15 山形むらきさわビル1階
TEL:023-628-4842 FAX:023-628-4820
E-mail:unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

～スマイル・トレード10%支援～



やまがた夜話

～女性研究者が語る「元気な山形の未来」～

参加申込書

必要事項を明記の上、下記宛 FAX・郵送または E-mail にてお申し込み下さい。
みなさんのご参加をお待ちしております。

申込締切日：それぞれの夜話前日までにお申込をお願いいたします。

参加日	参加日を○で囲んでください。
	平成23年 6月 1日(水) 講師：木村 松子 氏
	平成23年 6月 8日(水) 講師：丹野 克子 氏
	平成23年 6月 22日(水) 講師：早野 由美恵 氏
平成23年 6月 29日(水) 講師：平松 緑 氏	
住所	〒
氏名	
連絡先	TEL
	E-mail
所属	学生の方は学校名を記入

受講申込者が多数の場合は、お手数ですが参加申込書をコピーしてご利用ください。
この申込書にご記入いただいた情報は、今回の講座を受講するために必要な事務連絡等に
使用するとともに、参加者名簿の作成にのみ使用させていただきます。

お申込み・お問合せ先



大学コンソーシアムやまがた ゆうキャンパス・ステーション
〒990-0039 山形市香澄町1-3-15 山形むらきさわビル1階
TEL:023-628-4842 FAX:023-628-4820 E-mail:unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

山形大学農学部・山形県農林水産部連携推進協議会 平成23年度 研究成果公開シンポジウム

「つながりから見えてくる明日の山形」をテーマに、山形大学農学部と山形県農林水産部の「連携研究ユニット」から得られた最新の研究成果や今後の課題等を一般参加者や学生も理解しやすいように各ユニットから報告します。また、パネルディスカッションでは、連携することのメリット、連携を困難とする障壁、各活動を進めるうちに更に見えてきた新たな連携のあり方などの話題をコーディネーターが「紡ぎ」、山形県の農林水産業やその基盤となる自然環境の近未来像を、参加者とともに語り合います。

期 日：平成23年6月16日(木) 16:30～18:20

会 場：山形大学小白川キャンパス 基盤教育2号館2階講義室
(山形市小白川町1丁目4-12)

参加費：無料 (どなたでも、ご自由に)
(駐車場に限りがあります。できるだけ公共交通機関で来場ください)

申し込み：事前連絡不要 (当日、会場にお越し下さい)

テーマ

「つながりから見えてくる 明日の山形」

コーディネーター 山形大学農学部 安田 弘法

研究成果発表(連携研究ユニットの報告)

森林 「森林環境維持・増進技術の研究ユニット」

山形大学農学部 高橋 教夫

農畜産 「飼料用米研究ユニット」

山形県農業総合研究センター畜産試験場 三上 豊治

水産 「YELL-Stream研究ユニット」

山形大学農学部 大久保 博

園芸 「庄内産メロン研究ユニット」

山形県農林水産部生産技術課 古野 伸典

パネルディスカッション(総括)

コーディネーター + 上記報告者(パネラー)

お問い合わせ先 山形大学農学部企画広報室 電話:0235-28-2910

山形県農業総合研究センター研究企画部 電話:023-647-3510

主 催：山形大学農学部・山形県農林水産部連携推進協議会



「進学相談会」開催!!

高校生、保護者の方を対象に、県内の高等教育機関による個別進学相談会を開催いたします。ぜひ、この機会に会場へ足を運んで、進学の疑問を解決しませんか。お待ちしております。

6月16日(木) 15:00~18:00	山形県立農業大学校
6月20日(月) 16:30~18:00	羽陽学園短期大学
6月21日(火) 15:00~18:00	山形工科短期大学校
6月21日(火) 16:30~18:00	羽陽学園短期大学
6月24日(金) 15:00~17:30	山形工科短期大学校
6月26日(日) 10:00~14:00	山形県立産業技術短期大学校
6月28日(火) 16:00~18:00	山形大学
6月29日(水) 16:00~18:00	山形大学
6月30日(木) 16:00~18:00	山形大学
7月 3日(日) 10:00~15:00	山形県立保健医療大学
7月10日(日) 10:00~15:00	山形県立保健医療大学
7月13日(水) 16:00~18:00	東北公益文科大学
7月14日(木) 16:00~18:00	東北公益文科大学
7月19日(火) 16:00~18:00	東北文教大学／短期大学部
7月20日(水) 16:00~18:00	東北文教大学／短期大学部
7月21日(木) 15:00~18:00	東北芸術工科大学
7月21日(木) 16:00~18:00	東北文教大学／短期大学部
7月22日(金) 15:00~18:00	東北芸術工科大学

■ 会場

ゆうキャンパス・ステーション

山形市香澄町1-3-15 山形むらきさわビル1階

(山形駅東口から徒歩1分)

駐車場: 近隣の駐車場をご利用ください。(利用者負担)

■ お問い合わせ

大学コンソーシアムやまがた (担当 西田)

電話: 023-628-4842

E-mail: unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



平成23年度 山形大学公開講座(地域教育文化学部) 受講者募集

山形大学地域教育文化学部では、公開講座の受講者を募集しております。
受講を希望される方は、下記までお知らせください。

骨の健康

上手なカルシウム摂取のための知識と実験・調理実習

日時 平成23年
7月 2日(土).....第1回
9日(土).....第2回
16日(土).....第3回
(各日とも、13:30~15:30)

受講対象 一般市民(中学生以上)

定員 20名(先着順)

場所 山形大学地域教育文化学部1号館
(山形市小白川キャンパス)

受講料 3,000円

講座の概要 加齢に伴い骨密度は減少するため、高齢者にとってカルシウムを積極的に摂取することは、骨密度を増加させ、健康な生活を過ごすための第一歩です。また、スポーツクラブや部活動などでの運動は、骨代謝によいと言われています。しかしながら、何となくよいというイメージだけが先行し、「本当はどうなのか?」とよく理解されていないことが多いようです。

本講座では、以下の内容での講義及び実習を行います。

第1回

カルシウム代謝の基礎知識(講義)を理解した上で、食品中カルシウム濃度を実際に自ら測定(実験)して、日常の何気ない食生活で口にしている食材中のカルシウム含量に関する知識を身につけます。

担当 山形大学地域教育文化学部准教授
小酒井貴晴
山形大学地域教育文化学部講師
楠本 健二

第2回

実際に自らの骨密度を実測することで自分の骨の健康度を理解(実測)した上で、カルシウム強化料理のコツ、特に高齢者であっても食べやすい調理法を自ら調理しながら、体験学習します。

担当 山形大学地域教育文化学部准教授
大森 桂
山形大学地域教育文化学部講師
三原 法子

第3回

スポーツクラブや部活動などの運動時でのカルシウム摂取(講義)を理解した上で、手軽かつ上手にカルシウム摂取しやすい調理の工夫やテクニックを、自ら実際に調理しながら習得します。

担当 山形大学地域教育文化学部助教
矢口 友里
山形大学地域教育文化学部助教
山岸あづみ

申込方法・申込期間：平成23年6月24日(金)締切 下記宛にお電話ください。

山形大学 小白川キャンパス事務部 地域教育文化学部 事務室(総務担当)

〒990-8560 山形市小白川町1-4-12

Tel:023-628-4304 Fax:023-628-4313 e-mail: kyosoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

がんばろう！東北
がんばろう！日本

東日本大震災において、被災されたみなさまへ
心よりお見舞い申し上げます。
続く余震に不安な日々を過ごされる被災地のみなさまの安全と、
一日も早い復興をお祈り申し上げます。

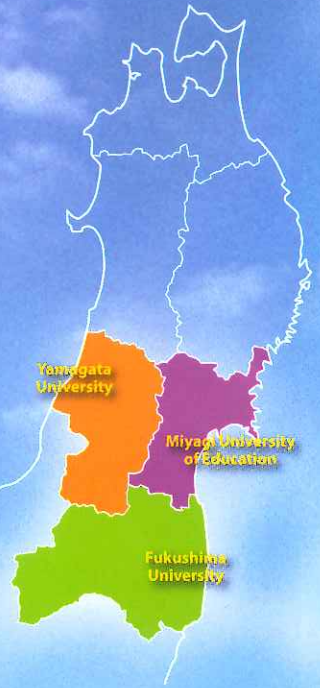
東北地区 国立大学

宮城教育大学

福島大学

山形大学

3大学合同 進学説明会



東北から新しい日本を創造する。今、この地で学び、共に未来を切り拓こう！

POINT 01

「学生相談コーナー」
を設けます。

各大学の在学生在みなさまの
悩みについて学生の視点で
お答えします。

POINT 02

各大学の資料を
多数取り揃えて
おります。

POINT 03

センター試験の
英語で使用する
リスニング機器を
体験できます。

平成23年 **7/3** 日 時間 13:00~16:00

仙台国際センター 3F 白樺

〒980-0856 仙台市青葉区青葉山無番地

自家用車でお越しの方

有料地下駐車場をご利用いただけますが、数に限りがございますので、できるだけ公共の交通機関(仙台市営バスなど)をご利用ください。

仙台駅よりバスでお越しの方

▶乗車…仙台駅西口バスプール9番のりばより「宮教大・青葉台」、「宮教大・成田山」、「宮教大」、「動物公園循環(青葉通・工学部経由)」、「交通公園・川内営業所」のいずれかにお乗りください。

▶下車…「博物館・国際センター前」でお降りください。



■【会場1】:「白樺」内

「大学説明会」 13:00~15:35

(第一部) ① 13:00~13:25 宮城教育大学

② 13:25~13:50 福島大学

③ 13:50~14:15 山形大学

(第二部) ④ 14:20~14:45 宮城教育大学

⑤ 14:45~15:10 福島大学

⑥ 15:10~15:35 山形大学

※第一部と第二部は同一内容です。

■【会場2】:「白樺」内

「個別相談会」 13:00~16:00

高等学校等の先生方、保護者のみなさまのご来場も歓迎いたします。近隣のみなさまは是非ともご来場し、3大学の情報や資料を入手してください。

詳しくは各大学ホームページをご覧ください。

◎宮城教育大学 <http://www1.miyakyo-u.ac.jp/> ◎福島大学 <http://www.fukushima-u.ac.jp/> ◎山形大学 <http://www.yamagata-u.ac.jp/index-j.html>

お問い合わせ先: 山形大学エンrollment・マネジメント部政策課(EM担当)
〒990-8560 山形市小白川町1-4-12 TEL: 023-628-4063
FAX: 023-628-4185 e-mail: enroll@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

「事前申込」いただいた方に
オリジナルグッズ等をプレゼントします。事前申込はコチラ
<http://daigakujc.jp/3goudou-sendai/>



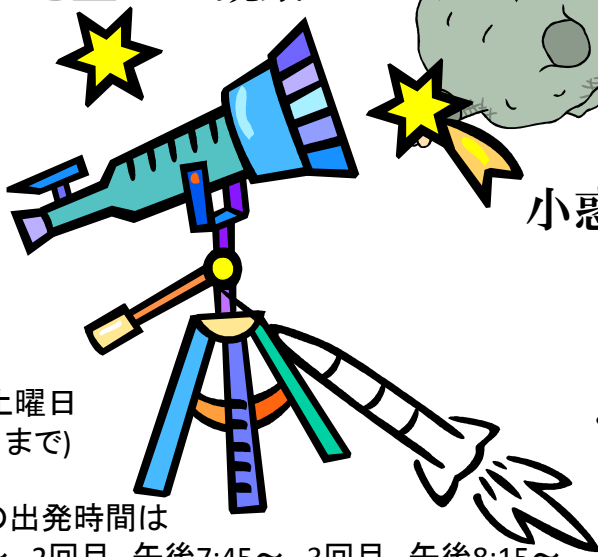
当日の
参加も
大歓迎!

リサイクル選性
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

やまがた天文台 星空案内と 小惑星特別展



春の星空案内
と土星の観察



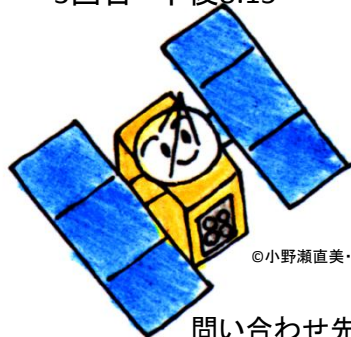
山形にちなんだ名前の
小惑星リスト公開

小惑星 (1) 発見命名された小惑星

順番	発見者	命名	名前	発見年月	発見場所	2011.2.10
1	6184	Domon		1990.10.15	知見一由五郎	
2	6349	Izasaoto	土門善	1990.10.15	川崎幸一	
3	6741	Zao	佐藤勲	1992.03.05	川崎幸一	
4	7048	Yamagata	佐藤勲	1990.4.14	山形大学	
5	8201	Naruo	藤子	1990.5.15	北條 善久	
6	8114	Mogamiwata	山形県	1990.9	北條 善久	
				1990.11.10	北條 善久	

小惑星誕生のメカニズム

ペーパークラフトで見る
日本のロケットの歴史



はやぶさ搭載
ターゲットマーカー
反射材実物展示

©小野瀬直美・奥平恭子

■公開日

5月14日から毎週土曜日
(特別展は6月12日まで)

星空ガイドツアーの出発時間は

1回目 午後7:15~ 2回目 午後7:45~ 3回目 午後8:15~

■参加料

小学生以上 200円

なお、特別展の見学のみであれば、
月曜から金曜日(10:30-14:00)無料で
御覧いただけます。

■場所

山形大学小白川キャンパス
インフォメーションセンター/やまがた天文台

問い合わせ先

山形大学インフォメーションセンター

平日の日中(午前9時~午後5時) TEL 023-628-4050
または、理学部柴田研究室 023-628-4552

平成23年度 山形大学公開講座〔人文学部〕

遠い方言 近い方言



6月2日(木) 多様な英語にみる方言の力
人文学部 講師 嶋田珠巳

6月6日(月) 若者の東北方言
— 消える方言・残る方言・拡大する方言
人文学部 准教授 池田光則

6月9日(木) 多言語国家フランス
人文学部 教授 阿部宏慈

6月13日(月) 方言の使い分けと役割語
人文学部 教授 渡辺文生

6月16日(木) 山形の方言 — 民話と民俗
人文学部 教授 菊地 仁
東北文科大学短期大学部 教授/東北文科大学部民話研究センター長 佐藤 晃
(司会: 人文学部 准教授 森岡卓司)

日時: 平成23年6月2日(木)～6月16日(木)
午後6時30分～8時10分 [月・木計5回]

場所: 山形大学人文学部1階 104教室

対象: 一般・大学生・高校生 定員30名

受講料: 一般 2,000円

大学生・高校生は無料

募集期間: 平成23年5月9日(月)～5月31日(火)

■お問い合わせ先

山形大学人文学部事務室

電話: 023-628-4203

E-mail: jisoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

遠い方言 近い方言

講座の概要

「方言」とは、いったいどのようなことばなのでしょう。ごく身近にあつて、他のどのことば以上に「自分のもの」と感じられるにも関わらず、その定義は必ずしも明らかではありません。例えば、方言と流行語との違いは明確には定められませんし、逆に、方言と見なされてきたものが、一つの独立した体系を持つ別言語だと自ら主張する場合があります。あらためて考えてみると、「方言」とは、優れて関係的な概念です。標準とされることばがなければ、方言と見なされることばもありえないからです。今あなたが、そして私が使っているこのことばも、時と場合によって、方言であつたりなかったりと、その顔を変えてゆく可能性を持つのです。しかし、あるいは、だからこそ、その不確かな存在に、私たちは様々な思いをこめて方言を使うのかもしれない。今回の講座では、国境・時代を超えた様々なジャンルの専門家から、「方言」が作り出される過程、そして「方言」から生まれる言葉や人同士の関係を語って頂きます。

第1回目

多様な英語にみる方言の力

人文学部 講師 嶋田 珠 巳



第一日目のテーマは、言語の個別性、方言の個性、英語の地域性。たとえば、イギリスのお隣、アイルランド英語のアイルランドらしさはどのようなところに見いだされるのでしょうか。標準語と方言、言語とコミュニティ、言語意識とことばの変化などについて考えながら、アジアにも、そして日本にも、「らしさ」を許容してひろがりをもちつつある英語の諸相をみていきます。

6
2
木

第2回目

若者の東北方言 — 消える方言・残る方言・拡大する方言

人文学部 准教授 池田 光 則



まず、国立国語研究所刊行の『日本言語地図』や『方言文法全国地図』等を見ながら、日本各地域の伝統方言について特色と分布を概観します。次に、10年間にわたり毎年400名前後の山形大学1年生を対象に実施したアンケート調査結果をもとに、若者世代の方言使用の実態と方言に対する意識を分析し、主として東北地方の方言について伝統方言からの変容の様子を考察します。

6
6
月

第3回目

多言語国家フランス

人文学部 教授 阿部 宏 慈



「ある民族がどれいとなつても、その国語を保っているかぎり、そのろう獄のかぎを握っているようなものだ」とアメル先生は語り、「フランス、アルザス、フランス、アルザス」とみごとな丸い書体で書きましたが（『最後の授業』）、それをお手本に書き取りをした「アルザスの一少年」は、普段何語で話していたのでしょうか？フランス語と方言、さらにはフランスにおける非フランス語の問題を通じて、近代的な国民国家と「国語」の問題を考えてみたいと思います。

6
9
木

第4回目

方言の使い分けと役割語

人文学部 教授 渡辺 文生



私たち日本人は、生活している地域で使われることば（方言）だけを用いているのではなく、さまざまな場面で共通語と方言を使い分けてコミュニケーションをしています。その共通語と方言の使い分けの実態について、さまざまな観点から話題を取り上げてお話ししようと思います。特に、最近の日本語研究において注目を集めている役割語という観点から方言の使われ方について考察します。

6月13日

第5回目

山形の方言 一 民話と民俗

司会：人文学部 准教授 森岡卓司

人文学部 教授 菊地 仁



東北文教大学短期大学部 教授
東北文教短期大学部民話研究センター長
佐藤 晃



講座の最終回は、東北文教大学短期大学部民話研究センターから佐藤晃先生をゲストにお招きして、トークセッションを行います。この山形の民話、民俗のなかに豊かに息づき、そして様々にかたちを変えながら受け継がれていくであろう方言のことを、説話、口承文芸、民俗学研究の最前線から縦横に語りつくします。そこからは、山形だけではなく、世界中の「方言」のこれまで、そしてこれからが見えてくることでしょう。ぜひ、皆さんもご参加ください。

6月16日 木

02		払 込 取 扱 票				通常払込料金 加入者負担	
口座記号番号						金額	
0 2 2 6 0 7 9 2 4 7 8						千 百 十 万 千 百 十 円 2 0 0 0	
加入者名 国立大学法人山形大学						料金	
※ 「遠い方言、近い方言」申込書 ※この払込用紙は、1人1枚をご使用ください。(人文学部) ○職業をお書きください。() ○年齢をお書きください。() ○今後の連絡の便宜のためにEメールアドレスをお持ちの方は ご記入ください。() ※個人情報の利用について 提出いただいた書類の個人情報は、本公開講座の参加に関する手続きのみに使用し、第三者に開示・提供・預託することはありません。ただし、ご承諾いただける場合は、今後の公開講座やセミナー棟のご案内を本学からお送りする場合がございます。□承諾する □承諾しない (いずれかをチェック願います)						備考	
おとこ (郵便番号)						日 附 印	
※ おなまえ 様						料 金	
(電話番号)						備 考	
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号仙第8982号)							
これより下部には何も記入しないでください。							

ここから切り離してお出ください。

振替払込請求書兼受領証

口座番号	0 2 2 6 0 7	通常払込 料金加入 者負担
加入者名	国立大学法人山形大学	
金額	千 百 十 万 千 百 十 円 2 0 0 0	
おなまえ	様	
ご依頼人	日 附 印	
料 金	備 考	

切り取らないでください。

記載事項を訂正した場合は、その箇所印を押してください。



- 募集人員** ◆ 一般・大学生・高校生 30名
- 募集期間** ◆ 平成23年5月9日(月)～5月31日(火)
- 受講料** ◆ 2,000円(大学生・高校生は無料)
- お申し込み方法** ◆ 下の「払込取扱票」に記入の上、受講料の振り込み手続きをしてください。通信欄には、職業、年齢を記入してください。先着順に受け付け、受講票をお送りします。
なお、大学生・高校生は、メールあるいは電話で、住所、氏名、電話番号、年齢を下記のお問い合わせ先にご連絡ください。
- お問い合わせ先** ◆ 〒990-8560
山形市小白川町1-4-12 山形大学人文学部事務室
TEL: 023-628-4203
E-mail: jisoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp
- 会場案内** ◆ 山形大学人文学部1階 104教室
大学正門を入れて正面の建物です。
受付は人文学部正面玄関にて行います。
- その他** ◆ **【公共交通機関ご利用のお願い】**
現在、山形大学小白川キャンパスでは、駐車場が非常に手狭になっております。公開講座当日はできるだけ公共交通機関のご利用をお願いいたします。

この受領証は、郵便局で機械
処理をした場合は郵便振替の払
込みの証拠となるものですから
大切に保存してください。

ご注意
この払込書は、機械で処理し
ますので、本票を汚したり、折
り曲げたりしないでください。

この場所には、何も記載しないでください。

公開講座



都市研カフェ

山形大学都市・地域学研究所の一流教授陣が、高校生と市民を学問の世界に誘う、紅茶とお菓子付きの楽しい講座です。新しい知の世界に接する絶好のチャンス！

場 所： ゆうキャンパス・ステーション（山形駅前、十字屋向かい大学コンプレックス）

時 間： 17:00～19:00

申込×切： 6月3日（金）17:00

定 員： 一講座20名程度

資料代+菓子代： 一般 500円 高校生 無料



内 容

- | | | | | | |
|-----|-----------|-------------------|-------|--------|-------|
| 第1回 | 6月 10日（金） | 「ジブリ作品と宗教学」 | 都市研所長 | 人文学部教授 | 松尾 剛次 |
| 第2回 | 6月 17日（金） | 「持続可能社会のためのエネルギー」 | 都市研所員 | 理学部教授 | 栗山 恭直 |
| 第3回 | 7月 8日（金） | 「ナスカの地上絵」 | 都市研所員 | 人文学部教授 | 坂井 正人 |
| 第4回 | 7月 15日（金） | 「驚きの名画：美術史の楽しみ方」 | | 人文学部教授 | 元木 幸一 |

問い合わせ先

山形大学人文学部松尾研究室 又は山形大学人文学部総務課

TEL・FAX 023-628-4917 TEL 023-628-4203

メールアドレス：kmatsumo@human.kj.yamagata-u.ac.jp

主催：山形大学都市・地域学研究所